

1. 科目名 (単位数)	ボランティア論 (2単位)	3. 科目番号	GELA1350
2. 授業担当教員	佐藤 惟		
4. 授業形態	講義 (ディスカッションを含む)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>今日、わが国においてボランティア活動は大きな注目を集めている。阪神・淡路大震災においてボランティアの貢献度が新たに見直され、以後、学問的なボランティア論としての研究も活発になされるようになった。ボランティア活動は今日、様々な内容に拡大化、多様化しているが、同時にいくつかの課題も浮き彫りにされてきている。本講義において、福祉ボランティアを中心に、活動の現状と課題を探り、今後ボランティアコーディネーターとしての活躍も期待されている福祉系の学生が、必要な知識を会得するよう、講義、視聴覚教材、受講生による発表とディスカッションを通して学習する。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになる。</li> <li>2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになる。</li> <li>3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深める。</li> <li>4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができる。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業内で配布する資料をあらかじめ読んでディスカッションに参加し、自分の意見と他の人の意見をまとめる。</li> <li>②授業で示されたテーマのうち自分の関心のあるもの一つを選び、レポートを作成する。レポートの形式については授業内で指示する。</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 指定しない (資料を毎回配布する)。</p> <p>【参考書】 本間龍 著『ブラックボランティア』角川新書、2018年。 田中優 著『幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア』河出文庫、2017年。 巡静一・早瀬昇 編『基礎から学ぶボランティアの理論と実際』中央法規出版、1997年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティアの意味と特徴、活動の歴史を理解し、説明できるようになったか。</li> <li>2. 今日のボランティア活動の現状と、そこにおける課題を理解し、説明できるようになったか。</li> <li>3. 実際に行われているボランティア活動のひとつに着目し、深く掘り下げて学習し理解を深めることができたか。</li> <li>4. ボランティアコーディネーターに求められているボランティア指導の方法を理解することができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法 授業への積極的参加度 40% 課題レポート 30% 期末評価 (レポート・試験等) 30%</p> <p>※ 東京福祉大学の学則 (第 36 条) に則り、成績評価に必要な出席時間数を満たしていない受講生の評価は行わない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正当な理由なく授業を欠席・遅刻・早退をしないこと。やむを得ない事情で欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教師に書面をもって報告すること。</li> <li>2. 授業中は携帯電話やPHS等の電源は切り、私語・居眠りは慎み、常に緊張感と集中力を保つこと。</li> <li>3. 授業での積極的な取り組みを評価するので、グループ・ディスカッションや意見の発表時には間違いを恐れず、主体的に取り組むこと。</li> <li>4. 授業中に指示された課題の提出期限は守ること。</li> <li>5. 可能な範囲で、自ら積極的にボランティア活動に取り組むこと。施設ボランティアだけがボランティアではない。エコキャップや使用済み切手の収集と提供などもボランティアである。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) に通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス (教員の自己紹介、受講生の自己紹介—ボランティア体験や関心のあるボランティアについて、授業の進め方の説明など)、ボランティアの定義	事前学習	これまでの自分のボランティア経験や、ボランティアについて自分が持っているイメージを書き出しておく。
		事後学習	自分が関心を持っているボランティア活動について考え、まとめる。
第2回	ボランティアの定義②、ボランティア活動の理念、ボランティア活動の現状	事前学習	ボランティア活動の定義、理念、および現状について調べておく。
		事後学習	ボランティア活動の定義、理念、および現状についてまとめる。
第3回	ボランティアの探し方、東京オリンピック・パラリンピックとボランティア①	事前学習	東京オリンピック・パラリンピックのボランティアについて調べておく。
		事後学習	東京オリンピック・パラリンピックのボランティアについて学んだ点をまとめる。
第4回	東京オリンピック・パラリンピックとボランティア②	事前学習	ディスカッションに備えて配布資料を読んでおく。
		事後学習	ディスカッションで得た様々な意見をまとめ、レポートとして提出する。
第5回	外部講師による講演：傾聴ボランティアについて	事前学習	電話相談ボランティアや傾聴ボランティアについて調べておく。
		事後学習	外部講師による講演を振り返り、学んだ事と感想をまとめる。

第6回	教育とボランティア	事前学習	教育に関わるボランティアについて調べておく
		事後学習	教育に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第7回	子どもとボランティア	事前学習	子どもに関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	子どもに関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第8回	障害者とボランティア	事前学習	障害者に関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	障害者に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第9回	高齢者とボランティア	事前学習	高齢者に関わるボランティアについて調べておく。
		事後学習	高齢者に関わるボランティアについて授業で学んだ要点をまとめる。
第10回	町内会・自治会、外国人とボランティア	事前学習	町内会・自治会と外国人を対象としたボランティアについて調べておく。
		事後学習	町内会・自治会について授業で学んだ要点をまとめる。
第11回	民生委員・児童委員、保護司、その他の地域のボランティア	事前学習	民生委員・児童委員および保護司について調べておく。
		事後学習	民生委員・児童委員および保護司について授業で学んだ要点をまとめる。
第12回	日本と海外のボランティアの歴史	事前学習	日本と海外のボランティアの歴史について、調べておく。
		事後学習	日本と海外のボランティアの歴史についてまとめる。
第13回	ボランティアコーディネーター、NPOについて	事前学習	ボランティアを受け入れる立場に立って、ボランティア活動を考えてみる。
		事後学習	ボランティアコーディネーターに求められる能力について考え、まとめる。
第14回	ボランティアのジレンマ、企業の社会的貢献(CSR)	事前学習	ディスカッションに備えて配布資料を読んでおく。
		事後学習	ディスカッションで得た様々な意見をまとめ、自分の意見を深める。
第15回	災害とボランティア、まとめ	事前学習	災害ボランティアについて調べておく。
		事後学習	「人々がボランティア活動を行う理由」や「ボランティアが社会に存在する意義」について考え、期末レポートをまとめる。